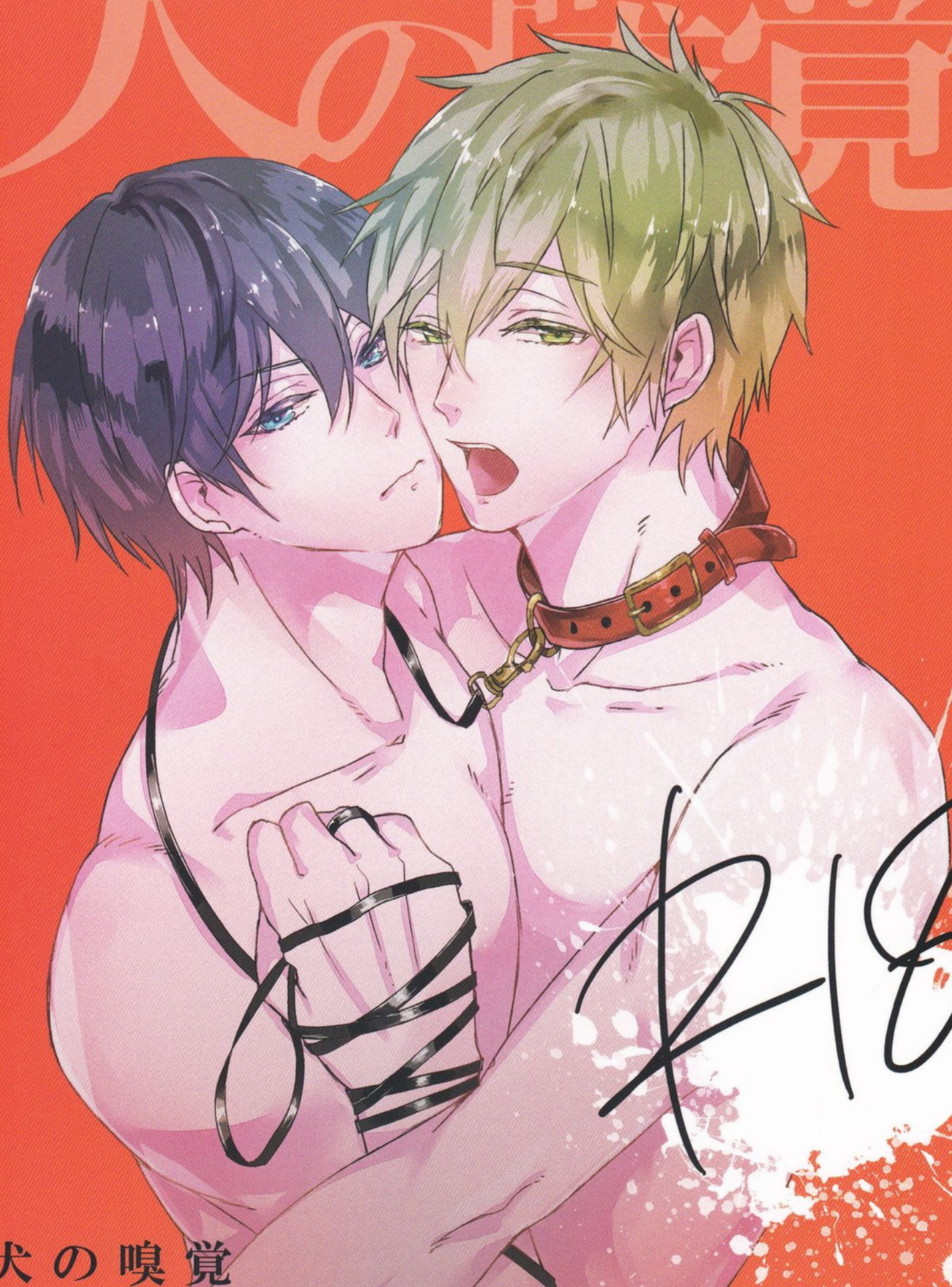


犬の嗅覚



犬の嗅覚

The sense of smell of a dog/he has a nose for EVERYTHING.
Free! Fanbook /MAKOTO*HARUKA/nicotama/20130818/adultonly

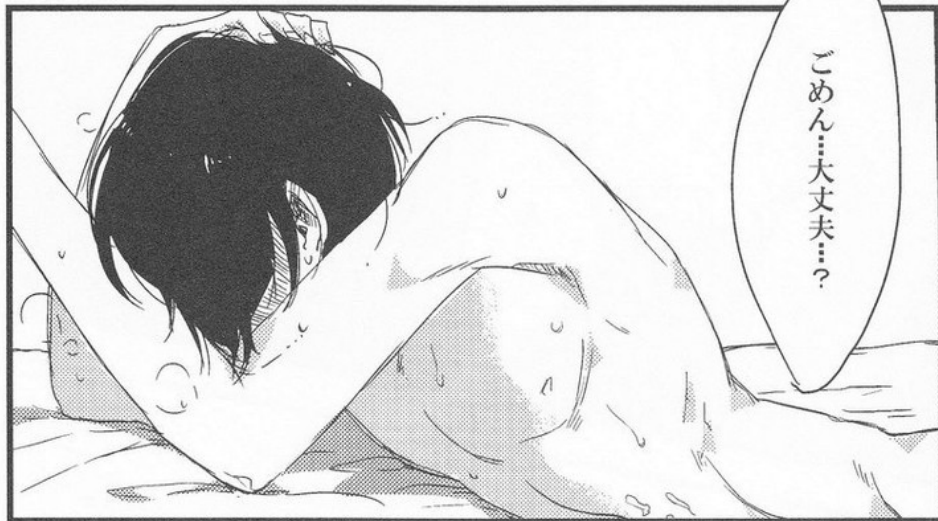




遙

はあ

はあ

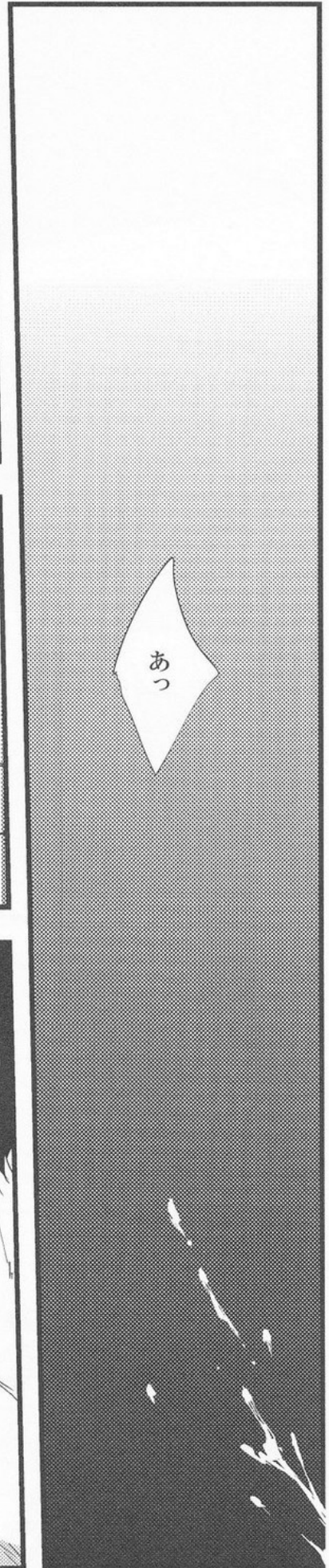


ごめん...大丈夫...?



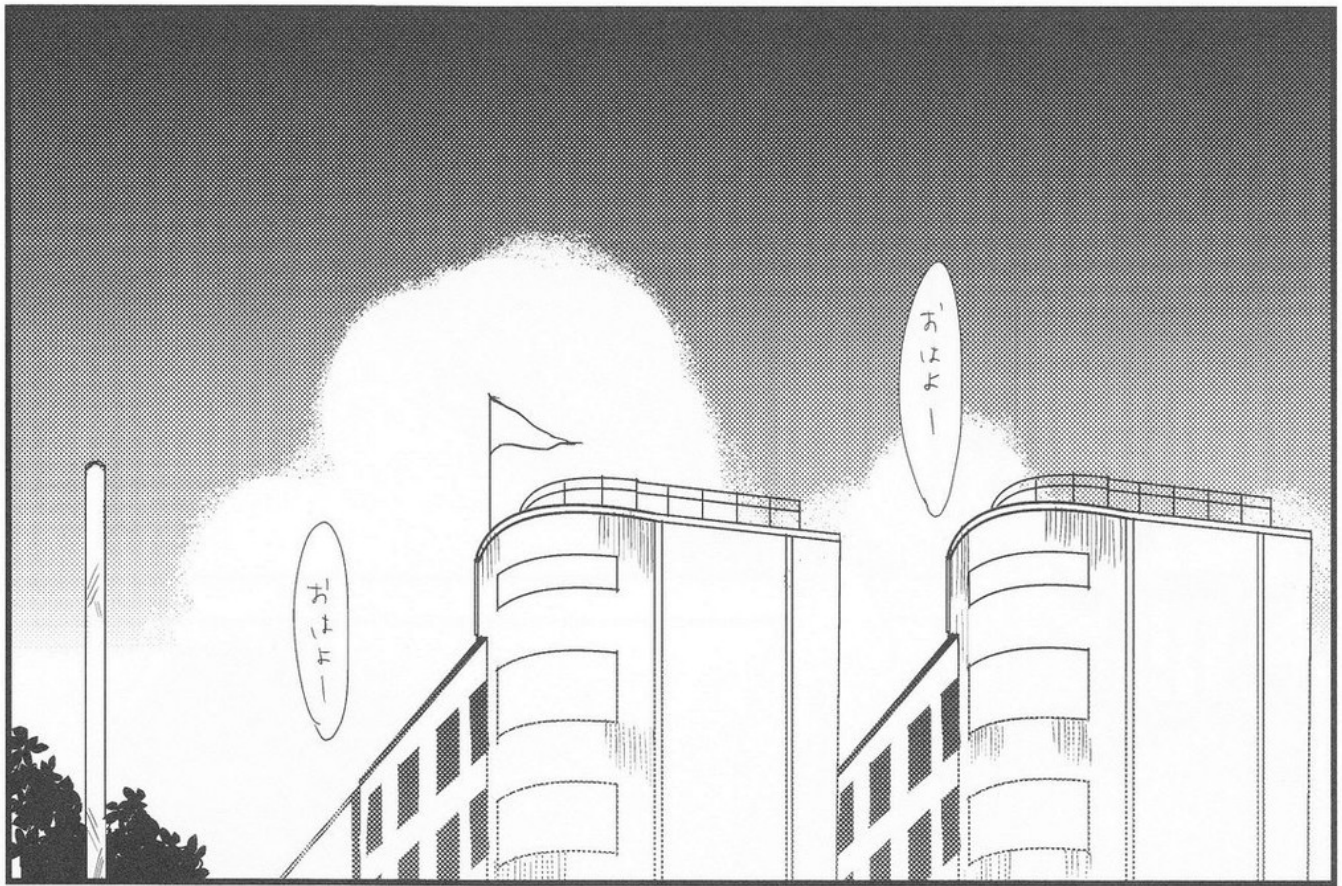
よかった

大丈夫だ
謝るな



あ

大の嗅覚

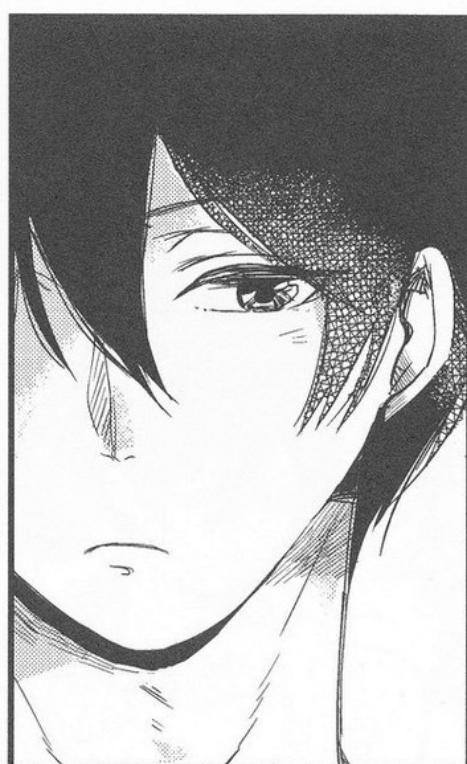
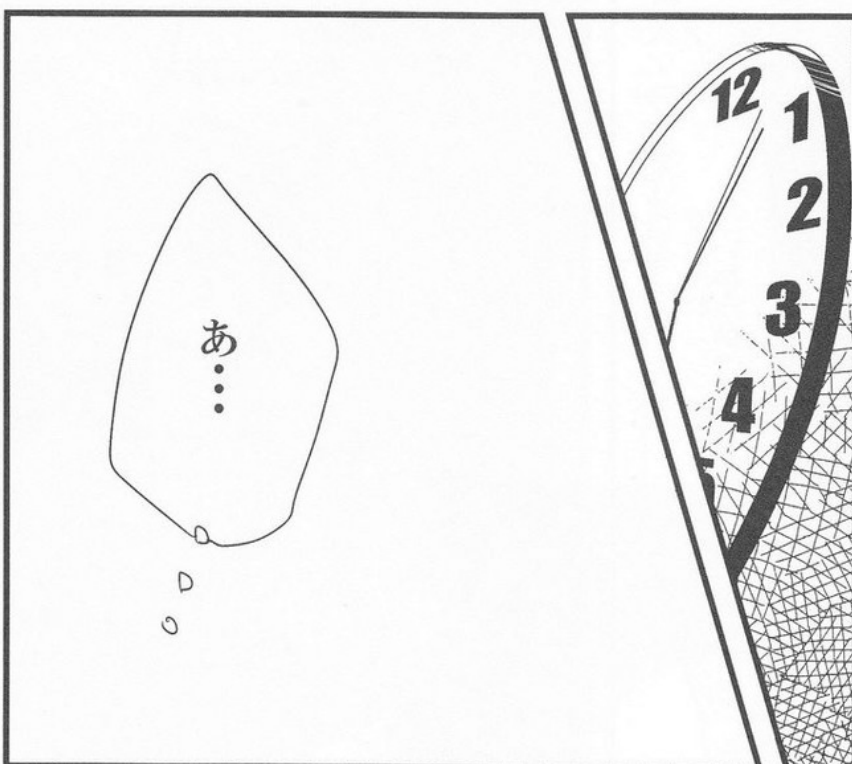
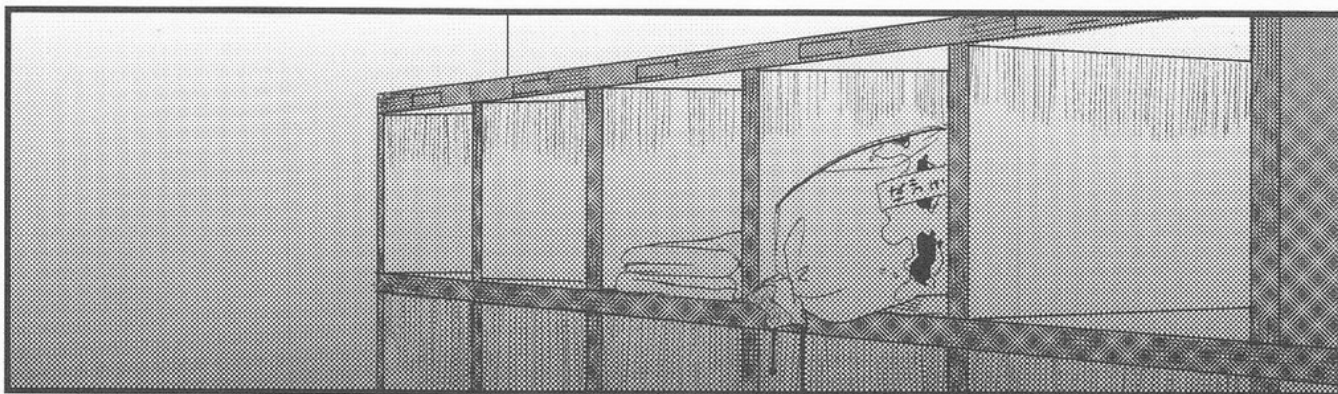


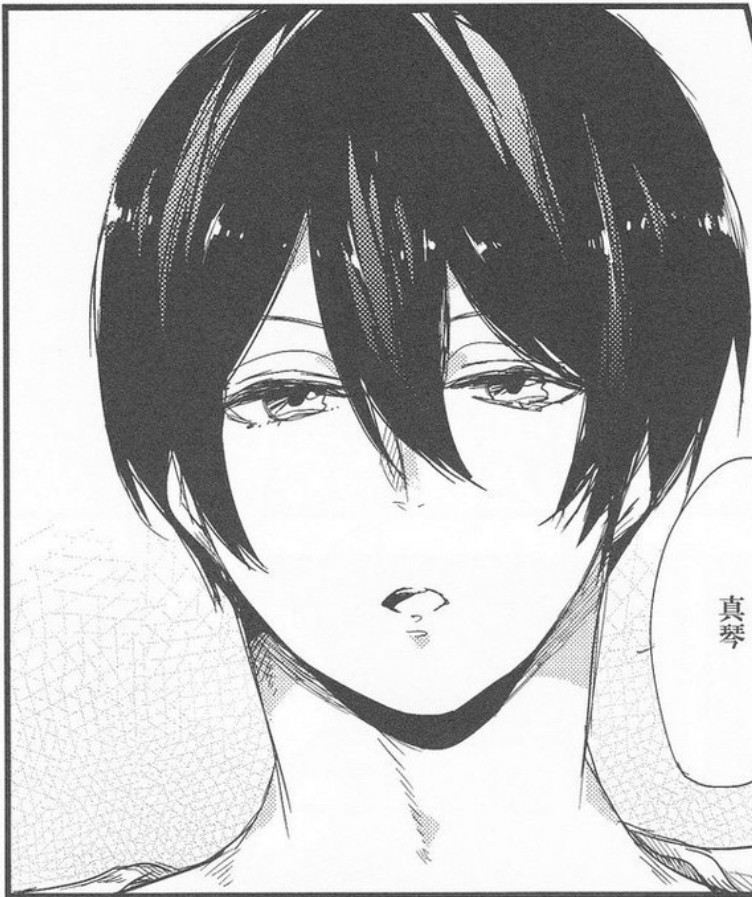




そういうところも含めて俺は彼のことが大好きです







真琴



時計見て…
周囲も確認したよね

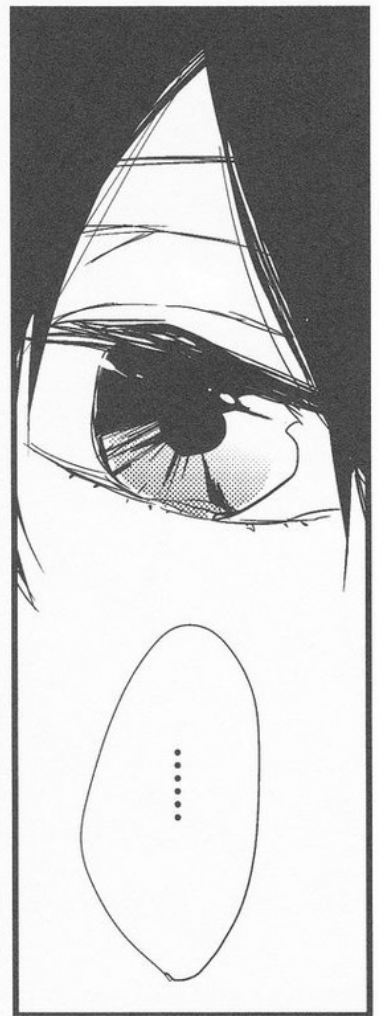


そして俺は鼻が利くので
ハルの考えていることは
大抵わかります

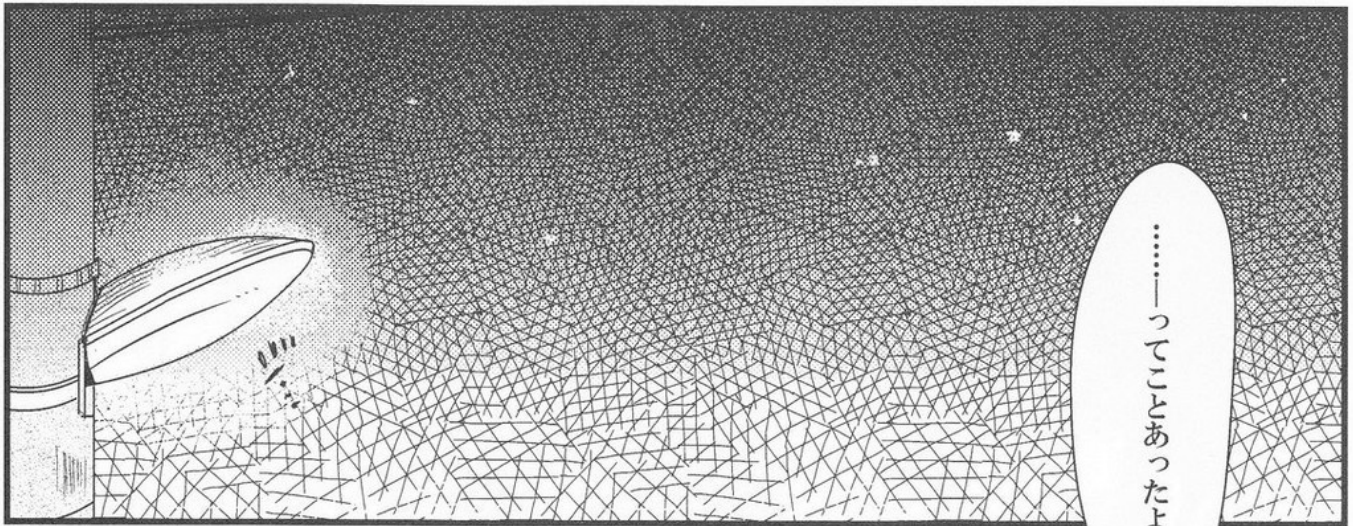
おおせのままに



ハイハイ



…





凜！



ハッ
オマエらにいつも一緒なんだな



オマエら放課後のデートか？



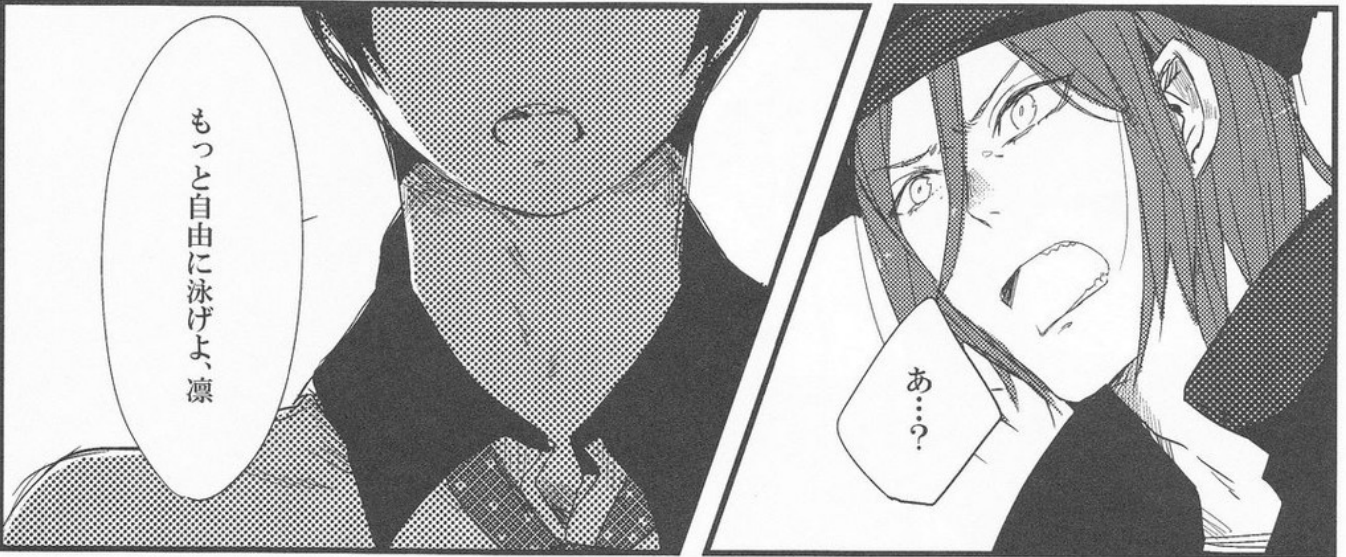
ちよつ、ちよつと…

ダッセエ

いつまでたっても仲良しごっこで
真琴から離れらんねえのか

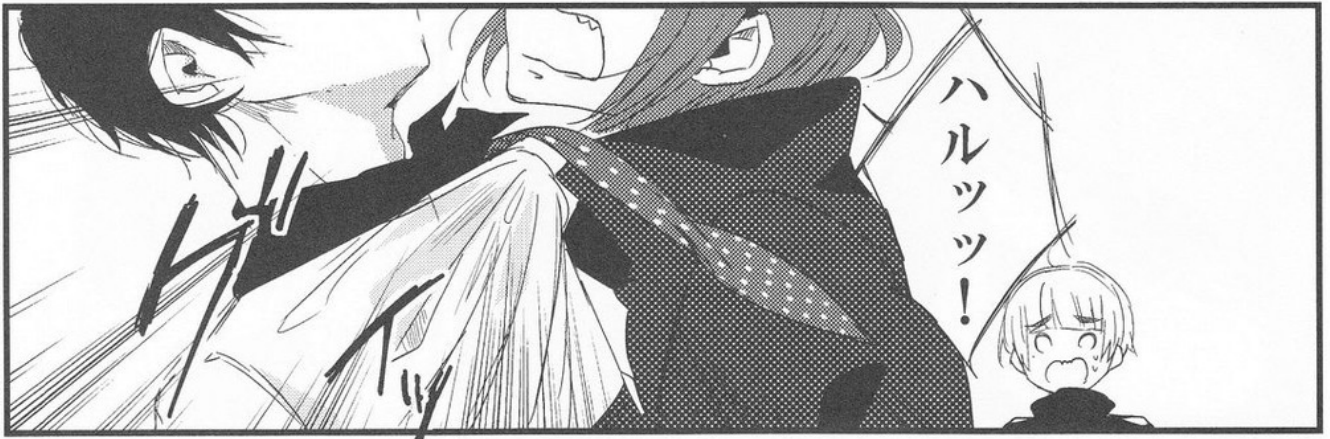


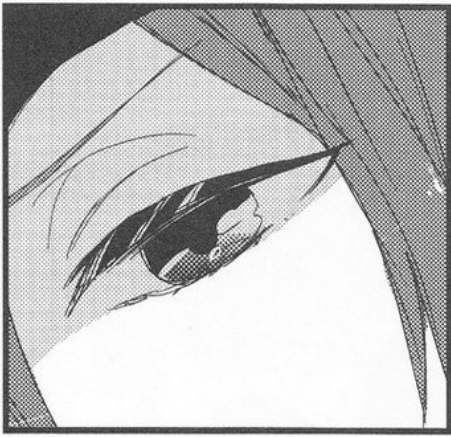
そういうおまえこそ一人で
泳げるようになったのか



もっと自由に泳げよ、凜

あ…？





俺たちも帰るぞ
真琴

しっ失礼します!

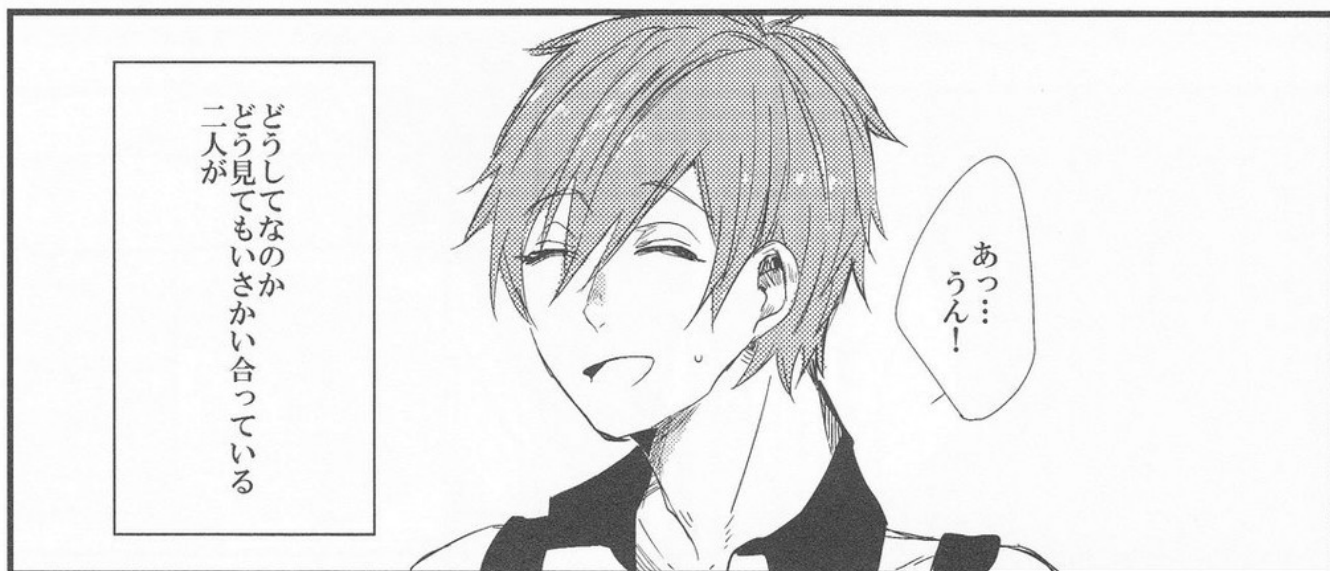


次は負けねえから
首洗って待ってよ



おい、ハル

俺はもう何ともねえ





—…嘘です
気ではなく、確信したのです



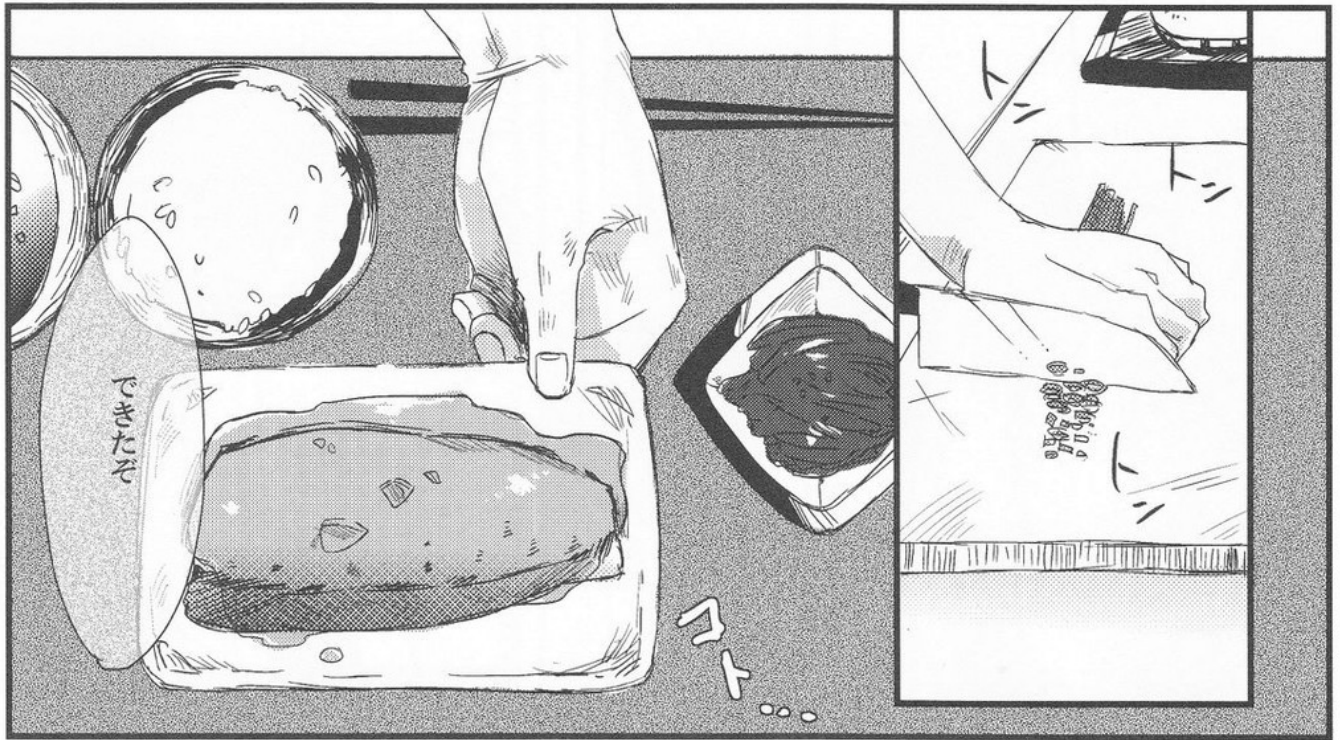
メシ食ってくか？

いいの？

じゃあ母さんに連絡いれるね

ん

だって俺は
ハルのことなら何でもわかるって言ったでしょう



うわー美味しいよ！
サバみそ？
ハル料理上手くなったなあ



うサバ
ま



いただきますーす！





ハルももっと凛と仲良くしないとだめだよ

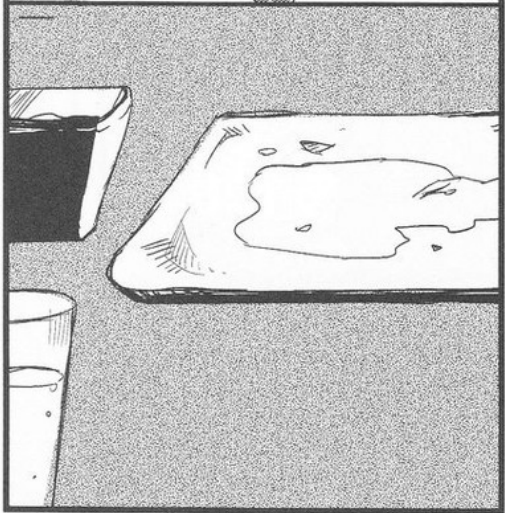
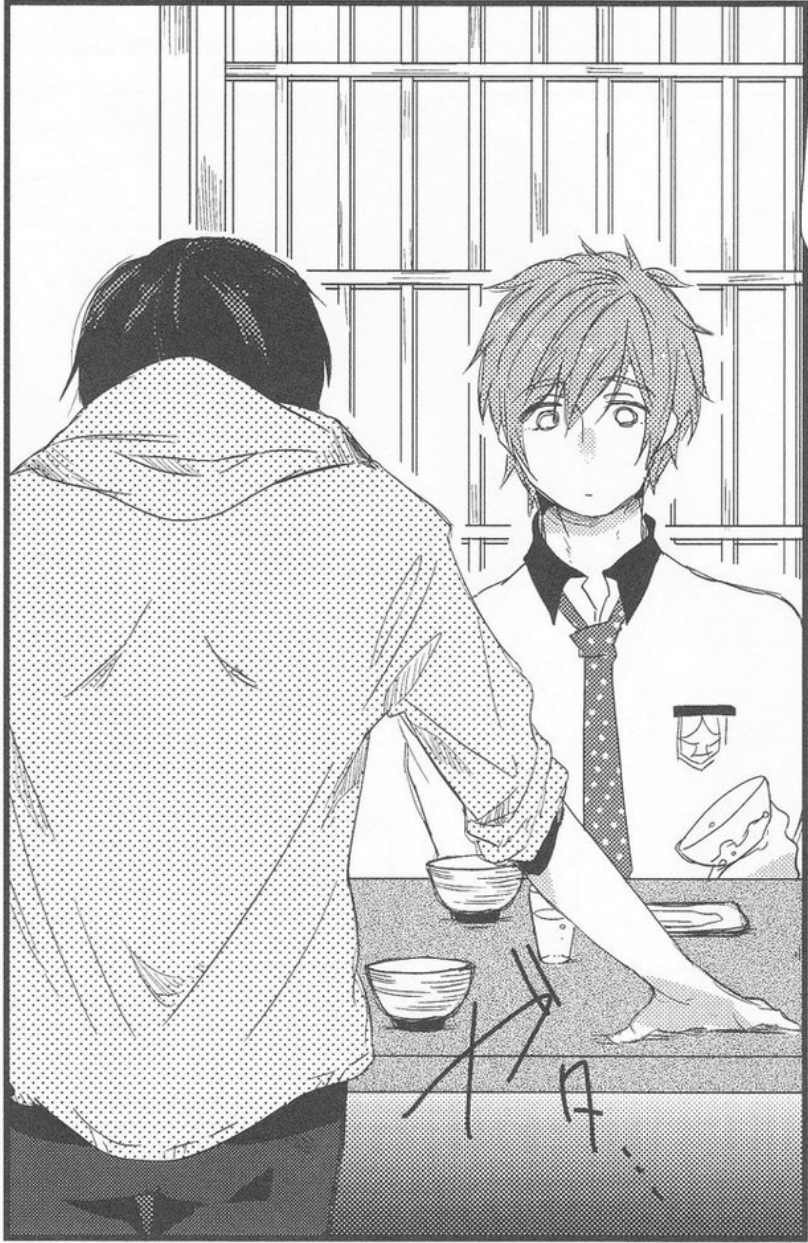


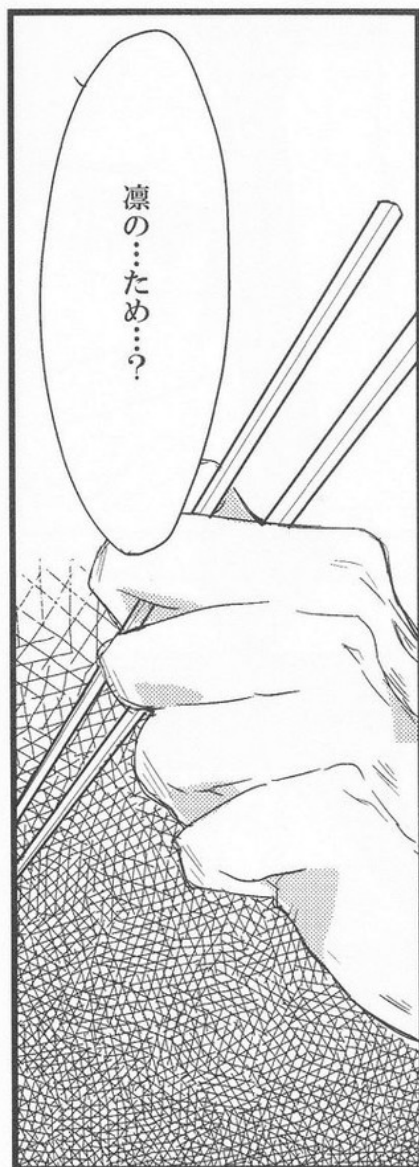
ひん...



凛は……

昔とずいぶん
変わっちゃったようだけど……







なんだそれ…

ハルが「誰かのため」に泳ぐことなんて
あのリレー以来のことなので
内心本当に驚きました



あ！
洗いのものは後で俺がやるよ！



それより
早くハルとしたい



ま、まあ何にせよ
凧とまた泳げるのはいいことだよな







もう
フェラはいいや

顔あげて



そのまま四つん這いになろうか



今日は君が俺の犬になってね





まじっ

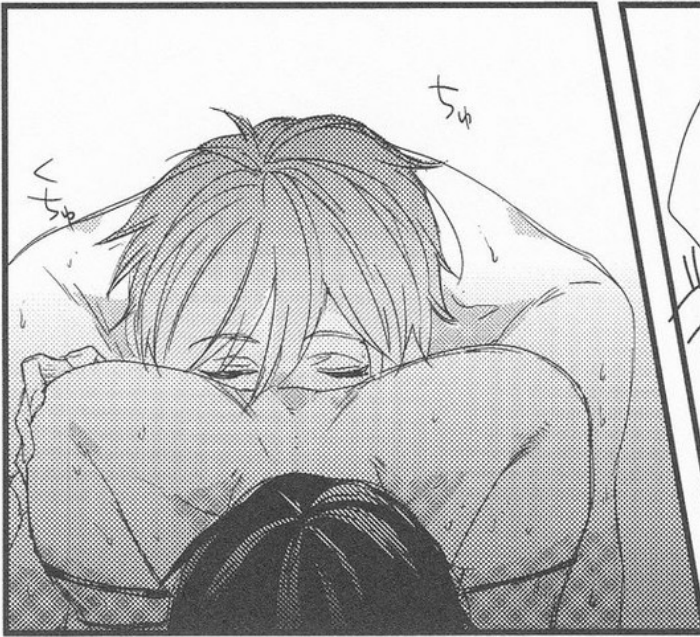
うあ…

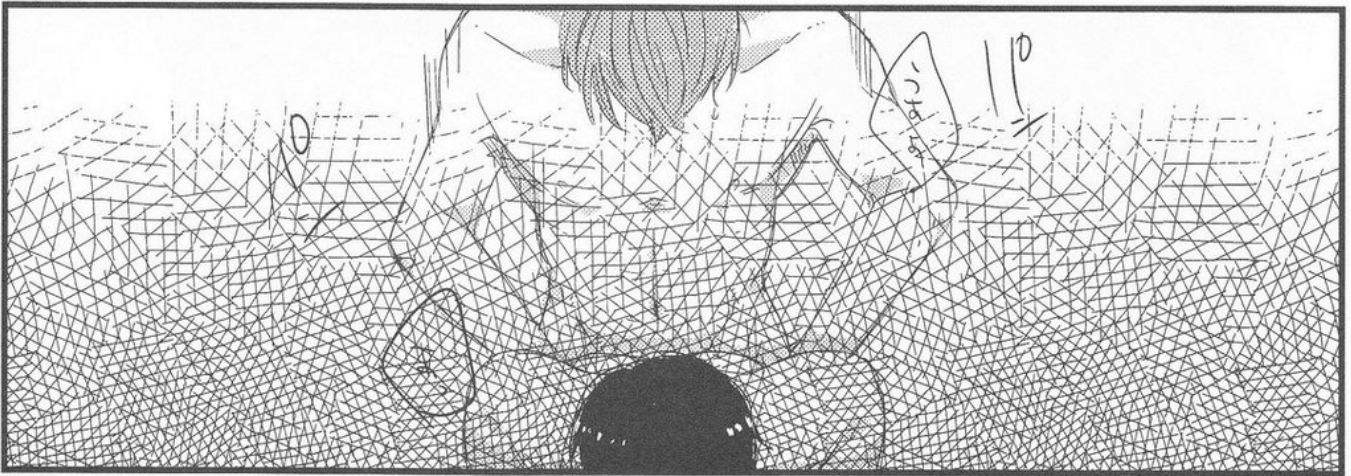
いっ痛っい

もっとな
優しっんッ

犬はしゃべっちゃ
ダメでしょ

今日は優しくしてあげられないからね



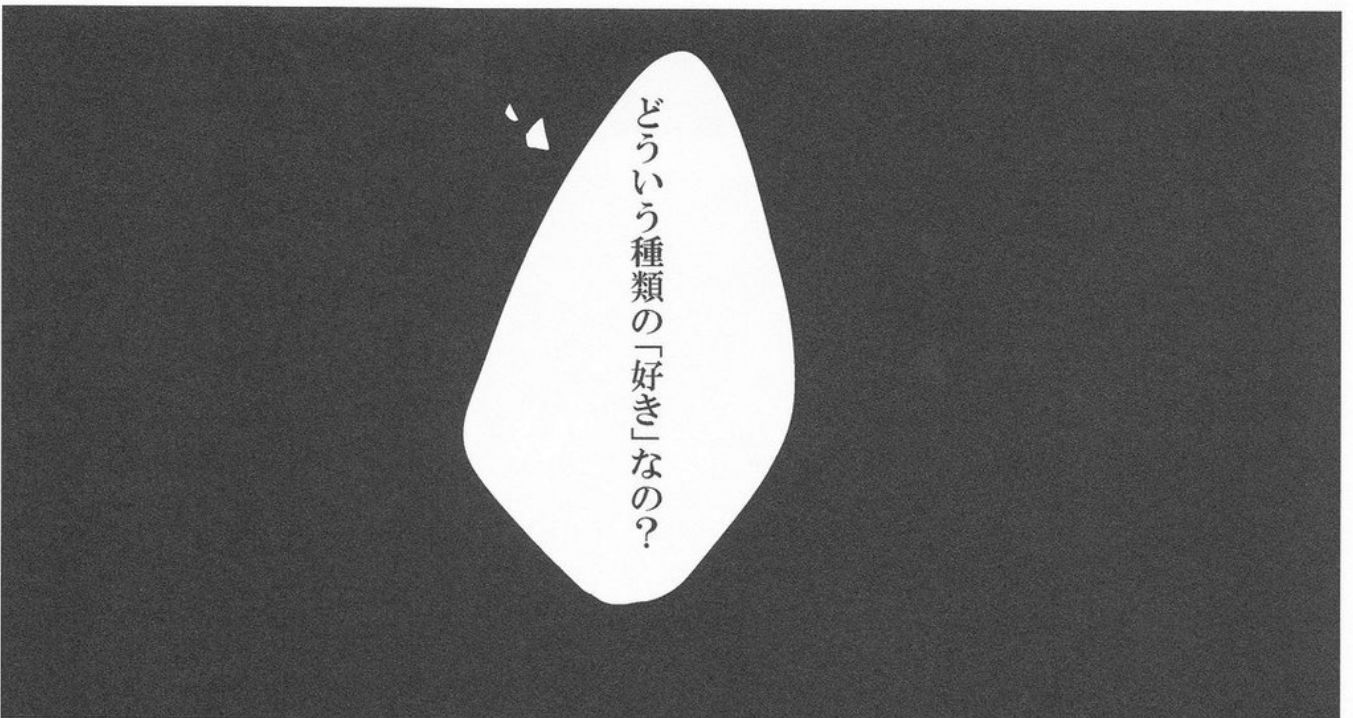


ああ…やっぱり…夢中で腰ふってやっぱ俺犬みたいだ



ハルちゃん





俺は凛のことも好きだ

だからこんなこと気づきたくなかった

ハルは本当はすごく優しいし



本人すら気付いてないことに…







それでも俺は
この声と手が
どうしようもなく
好きなんだ

犬の嗅覚

拙い本を手にとっていただきありがとうございます。
まこちゃんは涼ちゃんのこと友達としてはもちろん好きだけど
ハルトの間で色々と頭を悩まされる存在になりそうだなあと思って描いていたら
全く夏らしくない本ができました…！
次回はずっとかわいらしい本ができたらと思う次第です…

まこちゃんがんばれ！

20130818 nicoco/nicotama
<http://2tama-go.tumblr.com/>
<http://pixiv.me/kemomono3>
kemomono@gmail.com
印刷：太陽出版様

Free!fanbook/20130818/nicotama 